

平成24年度 三河地域物流効率化調査

委託元:国土交通省中部地方整備局名四国道事務所 調査実施:(公社)東三河地域研究センター

調査の目的

- ・愛知県経済を支える製造業についての物流効率化は、地域経済の競争優位性の確保や都市間競争を勝ち抜く重要な要素であり、製造業からのニーズも高い。
- ・本業務は、愛知県のものづくりを中心とした物流効率化の改善効果・寄与について、材料から製品までの一連のモノの流れを踏まえ、地域の国際競争力強化を含めた道路整備の課題や地域ニーズへの対応方向を検討するものである。

調査の内容

(1)愛知県及び三河地域の産業の状況把握

- ①製造業:
 - ・三河地域の製造品出荷額は24兆円で、全国1位を誇る愛知県の製造品出荷額(38兆円)の約6割。
 - ・特に三河地域の輸送用機械の製造品出荷額(17.2兆円)は、全国の3割を誇る。
- ②農業:
 - ・東三河地域の農業産出額は3千億円(全国の4%)で、田原市が全国1位、豊橋市が全国6位。

(2)愛知県及び三河地域の物流の状況把握

- ①物流動向:
 - ・愛知県の発貨物量、着貨物量は全国1位。
 - ・流動量の多い鉄鋼は東海市から西三河、東三河への流動が多い。
 - ・自動車部品は中三河、西三河、東三河の相互間での流動が多い。
 - ・三河地域の港湾、空港の貿易額は2.5兆円で全国の2%を占める。
- ②主要幹線道路の道路交通状況:
 - ・豊田・刈谷・安城周辺と三河港臨海部周辺の道路交通量が増加。

(3)三河地域の立地企業における物流実態の把握

- ①輸入車:
 - ・ジャスト・イン・タイムと同様の物流形態となっており、高速道路を利用する頻度が高い。
- ②農産物:
 - ・大都市圏への出荷は鮮度を優先するため高速道路を利用し、愛知県内の運搬では国道23号バイパスが利用される。
- ③肥料等:
 - ・とうもろこし輸入基地である衣浦港で取扱う肥料を東三河地域に輸送する上で、国道23号バイパスが重視される。
- ④三河瓦:
 - ・名古屋等集まる輸送トラックの帰り便を利用して全国へ瓦を配送。
- ⑤石炭灰:
 - ・セメント原料等として海上・鉄道・トラック輸送され、一部は臨海部等で埋立処分。
- ⑥鉄屑:
 - ・東三河・浜松地域の近郊から鉄・スクラップをトラックで集配し、電炉で製品化して、主に一般道路を利用して出荷。